

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5 年 10 月 3 日

公表:令和 5 年 10 月 10 日

事業所名 こども発達支援 むぎいろう

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		十分にある 5月から個々のマットスペースで過ごすのは解除となったが子ども同士が密になりすぎないよう距離を保ち過ごしている
	2 職員の配置数は適切である	7		1対1で丁寧な支援できる配置数であると思う 1対1で対応でき、フリースタッフも確保できる人員配置となっている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7		バリアフリーである。視覚に入りすぎないよう壁など飾りすぎないようにしている 室内はバリアフリーであり、活動場所もマットが敷かれていることで子どもたちにも分かりやすくなっている。見やすいところにホワイトボードもあり、本日の内容や状況も分かりやすくなっている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		毎日の清掃をしている 毎日清掃を行って汚れた場所も除菌クロスで拭き取るなどしている。体調不良者がいる場合も隔離し対応している
業務改善	5 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	目標を年に1回立てて反省し、改善できるようにしている 問題に対しての話し合いは職員間でしっかり行われている。PDCA サイクルでは行っていない Plan・Do・Check・Actionを行い、質の向上に常に取り組んでいる。各スタッフが問題意識を持ち、改善に向けた努力をしている
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		いただいた意見を大事にしている 毎年、保護者向け評価を実施し、結果をフィードバックしている
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		公開したり、事業所内でも掲示しています 玄関に貼り出し、結果が常に閲覧できるようになっている
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	6	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		年に数回、研修に申し込み、学習できている 質の向上に向け、各スタッフが研修に参加し、その内容を伝達し、共有している
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		できている
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4	発達段階を目安に子どもの適応行動を把握できるようにしている アセスメントツール使用はない 発達段階に合った計画の立案とアセスメントをしている
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		必要な項目をしっかりと選択し、具体的に本人の成長に合わせた支援、必要な支援を成長を見越して設定している
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		毎日のミーティングや中間評価、モニタリング等、支援できるようにスタッフ間でも支援を統一できるようにしている 職員全員で定期的にしつかりモニタリングしている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		保育士が主となり、話し合っている
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		毎日、毎年の成長をいろいろと考え工夫している
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		朝礼でミーティングを行い全スタッフで共有している 毎朝ミーティングで打合せ後に支援を開始している
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		毎日ミーティングを行い、周知している。問題点等があれば話し合い、ミーティングノートに残し、全スタッフで共有できるようにしている
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的に細かい個性を考えてモニタリングし、見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1	担当の相談員による見学や進学による関係機関の訪問なども受け入れている
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7		事業所での状況も必要時、医療機関へ連絡している 主治医、ソーシャルワーカーと連携できている
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5	該当事例がまだない 特別支援学校に向けた関係機関の訪問もあり、情報共有している
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	4	今年度これから実施していく予定 今から対象児が出てくるため必要になる
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		見学や支援計画の共有など行っている 他事業所での見学等を行っている。県医療療育総合センター主催の研修に参加している
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	感染症の心配があり、実施できていない 回数は少ないが散歩時に保育園へ行ったりしているが、もう少し交流が持てるとういことも思う 散歩コースに地域の学校・保育園を入れ、健常児と接する交流の機会を持っている
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		登降園時に様子を伝え合い共有している 登降園時に保護者とのコミュニケーションを大切にしている
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	3	一緒に頑張っていけるように支援の中に盛り込んでいる 家族力をupするため、無理ない範囲でアドバイス等を行っている
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		支援計画を開示し説明している	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		必要な助言ができるように努力しています 相談があれば傾聴し、対策等スタッフ全員で話し合い、必要に応じて助言や支援を行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	2	月に1回保護者参加型のふれあいの時間を計画していることで他の保護者との時間を過ごし、話せる機会づくりをしている ふれあいtimeの開催で保護者が事業所の活動に参加できる機会ができた ふれあいtimeの開催で保護者同士の繋がりをサポートしている ふれあいtimeを毎月実施している。保護者同士で会える機会を作っている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月おたよりを発行し、行事やわらべうたを知らせている 毎月おたよりを発行。他の予定も漏れがないよう伝えている 毎月月初めにおたよりを渡している。渡す際、内容もきちんと伝えている
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7		他の保護者がいる前で情報漏洩や利用記録や重要な書類が見えないようにしている
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		子どもの気持ちをスタッフが汲み取り、代弁している
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7	コロナが落ち着いてきたので地域の方々と交流ができる行事など行えるといい。事業所のことを知ってもらえるといい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		マニュアルを作成し、職員に周知している。保護者向けのマニュアルも作成し、説明するよう進めている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		年間計画に基づき、訓練を行っている いろいろな災害を想定し、訓練を実施している
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		保護者と指示内容の確認とケアシートを用いて実施。変更点などは変更用シートに記入してもらい間違いがないようにしている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	6	該当なし。食物アレルギーの子がいない 食物アレルギーの子がいないが、医師の指示書はあり、状況が変わるごとに指示書も新しくしている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ミーティングで話し合い職員全員で共有している ヒヤリハットアクシデントシートの活用とミーティングでの共有を図った上で、いつでも閲覧できるようにファイリングして保管されている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		チェックリストの読み合わせや意見交換をし、日々の支援を振り返る機会をつくっている
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	4	該当事例はないが、マニュアルや体制は整っている

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。